

一生を知る

遡上するサケ〈シロザケ〉



アイヌ語名は（ ）内に

❖ サケの一生 — 川は産院と保育所？ ❖

サケ（シロザケ）やカラフトマスなどはその一生のほとんどを海で送りますが、^{さんらん}産卵（と^{たんじょう}誕生、その後しばらく）の時には川に^{もど}戻り、そして死にます。死ぬために帰って来ると考えると^{さんこく}残酷なようですが、死ぬ前に命をつなぎにやって来るのです。一生の間に何度も産卵する魚でも大きな目で見れば同じです。

他に一度目の産卵後に死ぬ魚としては、スナヤツメやカワヤツメ、キュウリウオ、サクラマス（海に降^おりたもの）などがあります。なお、一生や寿命がわかっていない魚も多くいます。

サケ〈シロザケ〉(チェブ、カムイチェブ)の一生のイメージ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵の時期											卵	
1年目	ふ化	産卵床	川で成長	川を下る	海を北上	アリューシャン列島					少し南下	
2年目				北上			アリューシャン列島				少し南下	
3年目				北上			アリューシャン列島				少し南下	
4年目				北上	アリューシャン→カムチャッカ→千島					遡上・産卵・死亡		

10月に産卵し、浮上後川にとどまり、4年目で母川に戻る場合

ウグイ（スプン、オトウヤツケ）〈海に降りない場合〉[※]の一生のイメージ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目						卵・ふ化		川で成長				
1～2年目						川で成長						
2～3年目						川で成長						
3～4年目					成熟・遡上	産卵		成魚として生存				
4～数年目					遡上	産卵		成魚として生存（数年）				

3年で成熟する場合。 ※ ウグイには成長して海に降りるもの（産卵は川でする）と一生川で暮らすものがある

参考文献

- 「漁業生物図鑑 北のさかなたち」 長澤和也・鳥澤雅 編 朝日本海
洋センター 1991
- 「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」 川那部浩哉・水野信彦 編・監修
山と溪谷社 1989
- 「北海道の淡水魚」 稗田一俊 北海道新聞社 1984
- 「検索入門 川と湖の魚①」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989
- 「検索入門 川と湖の魚②」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1990
- 米盛保（1975）北海道起源シロザケに対する標識放流から得られた
結果の分析についての試み、北太平洋漁業国際委員会研究報告、第
32号、p 123-151